

社会教育委員会議（令和元年度第2回定例会） 次第

令和2年3月13日 9時30分～
飯田文化会館 展示室2・3

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 開 会 | 北澤生涯学習・スポーツ課長 |
| 2 委嘱状交付 | 代田教育長 |
| 3 あいさつ | 代田教育長 |
| 4 報告・協議事項 | 進行…中島座長 |
- (1) 社会教育関係各課・館・所の令和2年度の事業等について
資料1-1、1-2、2
- (2) 令和2年度 社会教育関係団体へ交付を予定する補助金
資料3
*社会教育法第13条の規定に基づき、意見をお聴きするものです。
- (3) 社会教育委員の活動についての意見交換・情報提供
- (4) その他

5 説明・確認事項

進行…生涯学習・スポーツ課長

(1) 令和2年度 審議会等への委員の選任について

資料4

6 各課・館・所からの連絡事項等について

7 来年度の日程（予定）

期 日	会議名	場 所
5月 8日（金）	飯伊理事会（正副座長）	飯田合庁
5月下旬	社会教育委員会議（第1回定例会）	
6月17日（水）	県連絡協議会総会・講演会	総合教育センター
6月26日（金）*予定	飯伊総会・研修会	泰阜村
	社会教育委員会議（臨時会） （第2次教育振興基本計中期計画について等3回程度予定）	
9月17日（木）	県社会教育研究大会	総合教育センター
未定	中北部ブロック研修会	喬木村
11月12日（木）～13日（金）	全国社会教育研究大会兼関東甲信越静社会教育研究大会	新潟県
12月 7日（月）	飯伊理事会	飯田合庁
3月中旬	社会教育委員会議（第2回定例会）	

◎県理事会（会長）

5月15日（金）	理事会①	長野県庁
6月17日（水）	理事会②	総合教育センター（県総会の前段）
7月17日（金）	理事会③	長野県庁
11月27日（金）	理事会④	長野県庁
2月 5日（金）	理事会⑤	長野県庁

8 その他

9 閉会

*終了後、社会教育委員研究会（社会教育委員による自主研究）

第1回定例会において発言のあった意見と、その対応など

課等の名称〔生涯学習・スポーツ課〕

No.	事業名	事業の目的(■)及び概要(●)	第1回定例会での意見など(要旨)	第1回定例会での回答(要旨)	令和元年度あるいは令和2年度の対応など
7	LG(地域・地球)飯田こども未来事業	<p>■ふるさと飯田に誇りと愛着を持ち、地球規模で物事を考え行動する視野と力を持った、未来の飯田の担い手、支え手を育む</p> <p>●小中学校における「LG(地域・地球)飯田こども未来事業」(「ふるさと学習」・「体験活動」に「グローバルな視点」を取り入れた学習)への交付金による支援</p>	<p>○非常に素晴らしい事業で、交付金によって非常に助かっている。子どもたちに有意義な体験活動ができていると思っているが、どうしても校外へ出ていくことも必要となり、バスや車両を使わなければならない。しかし、車両規定によってバスを使えるのは1校年2回という形で制限されており、非常に苦しいものがある。活動を充実させるためにはできるだけ多く車両を用意してもらいたい。美博からも魅力的な提案があり、行きたいと思うが、行くためにはどうしても車両を用意してもらはなくてはならない。ぜひ厚く手当を。</p>	(回答なし)	<p>○令和2年度において、飯田市の小学校が美術博物館の学芸員から飯田の自然・文化・歴史・活躍した人々などを学び、ふるさと飯田のつながりを知り、誇りや愛着を育むきっかけとなる仕組みを作ります。そのために、学校と美博などとの、マイクロバスなどの移動手段への支援を当初予算要求しています。</p>
24	文化財資産化事業	<p>■地域資産の価値を顕在化し、価値の顕著なものについて文化財指定する</p> <p>●教育委員会の各機関、研究者や研究団体が行った研究情報の集約・整理、飯田市文化財審議委員会による指定候補物件の調査・諮問、答申に基づく飯田市教育委員会による文化財指定、県・国指定文化財への上位指定申請、等</p>	<p>○公民館の活動を通して地域の歴史文化、自然等の先人達の思いや祈りがずっと込められて伝えられてきた。そのような価値について、地域の文化財の指定を申請したが、審議が一年伸びた。地域の人たちの盛り上がりや醸成しているところだが、現況と姿勢を聞きたい。</p>	<p>○各地域の方、あるいは個々の所有者の方から申請をいただいております。また教育委員会でも調査を、社会教育機関等と調査研究を進めていく中で、価値が顕在化されたものについて、文化財審議委員会に諮問してご審議をいただいております。その中には、広い視野ともう少し調査研究を深めてほしいというものも当然あるので、時間をいただいているものもあり、また、いろいろな類型があるものについては広く調査研究をする必要もあります。様々な点をクリアしていく中で文化財指定されていくということで、時間をいただいているものも多々あります。地域の熱が冷めないうちにということは、私どもも十分に感じているところであり、一方で私たちが調査研究を行う中で、地域の皆さんにその成果を、学習会などでお返りするなどしながら、いっしょに取り組んでいきたいと考えています。</p>	<p>○令和元年度の取り組みにおいては、文化財審議委員会を3回開催し、「菱田春草筆 富嶽」、「中村八幡社の石造狛犬一対」の2件を飯田市有形文化財として指定しました。特に、「中村八幡社の石造狛犬一対」については、関係する皆様や伊賀良公民館によって学習会が開催されました。学習会には約40名の参加者があり、地域の歴史や地域が誇る文化財の価値を知っていただくお手伝いをさせていただきました。今後もこうした活動のなかで、文化財を通じたふるさと意識の醸成の取り組みを進めてまいります。</p>

課等の名称〔飯田市公民館〕

No.	事業名	事業の目的(■)及び概要(●)	第1回定例会での意見など(要旨)	第1回定例会での回答(要旨)	令和元年度あるいは令和2年度の対応など
4	乳幼児親子学習交流支援事業	<p>■親同士が交流と学習を深め、子育ての情報や知識を得るとともに悩み等を共有する機会とする。</p> <p>●トライアングル子育て講座、妊婦講座、リーダー育成事業、子育て情報誌「おひさま」の発行、各地区における乳幼児学級等の開催</p>	<p>○子どもたちと関わったり、若いお母さんたちと関わったりすることが多く、去年、乳幼児学級で子どもたちに科学教室を実施したが、少ない人数に驚いた。理由を考えると、今は地域にサークルがいろいろできていて、お母さん方がそちらを共有して、市でやっている乳幼児学級と変わらない感覚でいる。これについて違いをわかしてもらい、そして公民館へ来てもらうというようにすることが一番地域と結びつくとか、お母さんたちが勉強するとか、地域との協働とかいろいろなことと関わっていく中で大事なことだと思う。それを公民館なり地域が受け皿にならないといけないと思う。</p> <p>○公民館の部屋の使用については、団体として一度登録すれば、飯田市のどこの公民館も使えることが認知されていない。なので、様々な団体が他所へ移っていきってしまう。何か活動しようと思っても、おそらく公民館を使用していない。若いお母さんたちも場所を探していると思うので、広報する必要がある。</p>	<p>○乳幼児学級や、ネットワークトライアングルとの話の中で、課題として認識している。社会教育関係団体全体における活動しているサークルは、減少傾向にあり、ネットワークトライアングルに参加の声掛けはしているが、情報交換への参加も減少傾向と認識している。ただし、フリーマーケットに関しては大変人気があり、まったく需要がないということではないと認識しており、次世代を担う若い女性に関わってきてくれないと、地域の次のステップにならないと思っているので、ぜひご意見等いただきたい。</p>	<p>○親の就労状況により、各地区の乳幼児学級への参加は減少してきており、近隣地区での合同開催したり、保育園との連携等内容を工夫するなど充実に努めています。</p> <p>○市公民館では、子育てネットワークトライアングルによる妊婦向け講座や子育て講座を実施し、見直しをもって子育てができるよう支援をするとともに、フリーマーケットを年2回開催して母親同士の交流の場を提供しています。</p> <p>○また、子育て情報誌「おひさま」を年4回発行し、公民館の利活用を含めた子育てに関する情報を提供するとともに、子育てサークルのリーダー交流会を実施して各地区のサークル活動が充実するよう支援していきます。</p> <p>○次年度に向けて、各地区の乳幼児学級は、母親が子育てを通じて地域とつながるきっかけとなる大事な場でもあり、受け身ではなく主体的な学習活動となるよう内容等を工夫していきます。</p>

第1回定例会において発言のあった意見と、その対応など

課等の名称〔 文化会館 〕

No.	事業名	事業の目的(■)及び概要(●)	第1回定例会での意見など(要旨)	第1回定例会での回答(要旨)	令和元年度あるいは令和2年度の対応など
1	いいだ人形劇フェスタ開催事業	<p>■市民が人形劇をみたり、演じたり、ささえたりすることで心が豊かになること、人形劇が発展し、地域の文化がさらに高まり、まちが元気になることを目指して、国内最大の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」を開催する。</p> <p>●いいだ人形劇フェスタ2019は7月31日(水)から5日(月)までの6日間、飯田・下伊那の約140会場で開催。国内外から約300劇団が参加し、400ステージ以上の人形劇公演を行う。21年目の新たな一歩を踏み出す今年のフェスタでは、みる人演じる人ささえる人の様々な形での交流を大切にする。また、春川市(韓国)、雲林縣(台湾)、札幌市など人形劇の分野で特徴的な活動を行っている地域との交流事業や連携事業、観光誘客のためのツアー企画や環境整備に取り組む。</p>	<p>○人形劇フェスタに昨年度参加したが、ものすごく暑く、待ち時間に室内で待てる場所もあるが、そうでないところもあり、暑さ対策、今後も夏開催を続けるかという時期について、最近の気候変動で不安を感じる。</p>	<p>○昨年、中心会場となった中央公園等はあまりにも暑すぎ、いくつかの公演を中止しました。今年は、何度以上になったら中止するなどの対策を取らざるをえないかと考えており、実行委員会で協議しながら進めたい。開催時期については、40年の実績があり、開催時期の8月上旬を動かすのは難しいと思いますが、その中で対策を打ちながら実施していくことが大事であると考えています。</p>	<p>○フェスタ2018(平成30年度)から猛烈な暑さへの対応として、屋外会場での上演の可否を判断する基準(37度)を設けました。フェスタ2018では3公演を中止しました。期間中の暑さを起因とした急病人は発生しませんでした。</p> <p>○フェスタ2019(令和元年度)は飯田市危機管理室の暑さ対策の基準にしたがい公演を実施しました。中止した公演はありません。フェスタ2020(令和2年度)も引き続き飯田市危機管理室の暑さ対策の基準でフェスタを実施していきたい。</p>
3	小中学生音楽鑑賞事業	<p>■市内の小中学校の児童・生徒が、一流の音楽家による演奏を直接鑑賞することを通じ、児童・生徒の音楽鑑賞能力の向上への寄与と、オーケストラ音楽の普及と振興を目指す。</p> <p>●小・中学校の希望を募って実施。2019年度は、5月20日(月)竜丘小学校、10月3日(木)浜井場小学校、下久堅小学校、10月7日(月)追手町小学校、竜東中学校(上久堅小、千代小、千栄小と合同)で実施。</p>	<p>○希望する小中学校でクラシックの音楽会を開催する機会があるということだが、全部の学校ではないというので、できるだけ皆にクラシック音楽を聴かせてあげたいので、前年度に受けていないところで行うなどの配慮があればいいのではないか。</p> <p>○以前は全郡で音楽鑑賞教室を実施していたが、少子化に伴って厳しいものがあるということ、なくなって非常に残念だと思っていたが、飯田市でこういう形で行っているということで、昨年実際に竜東中学校区で鑑賞させてもらった。非常に良かったということで、本年度も応募したところ、実施されるということで大変喜んでいる。ぜひ、予算も大変かと思うが、希望された学校をできるだけ多く実施できるようお願いしたい。</p>	<p>○小中学校へ希望を募り、希望が上がってきたものについて実施する仕組みであり、学校のそれぞれの都合による希望により開催されるということになっています。</p>	<p>○令和元年度は、28校中8校(小学校7校、中学校1校)で事業を実施し、1,021名が鑑賞しました。</p> <p>○令和2年度も希望のある学校が実施する方向で名フィルと開催に向けた調整をしています。希望をしない学校もあり、市内全部の小中学校の児童・生徒に音楽鑑賞の機会を設けることはできていません。学校への呼びかけは、名フィルの新型コロナウイルス対応等もあり、これから行います。</p>
11	伝統人形芝居振興事業費	<p>■飯田市に伝承される人形浄瑠璃を保存し次代へ継承する</p> <p>●黒田人形・今田人形の伝統人形浄瑠璃を保存伝承するために、それぞれの保存会が行う研修活動、後継者育成を目的とする地元中学校への指導活動を支援する。また、阿南町の早稲田人形、箕輪町の古田人形も含めて組織する伊那人形芝居保存協議会を支援し、義太夫、三味線、人形操りの合同研修、中学生サミット、四座の合同公演を実施する。</p>	<p>○補助金が交付されている、ある団体の総会へ行ったり、総会資料が事前に全部刷られていて、そこで意見を言っても、取り上げてもらえないような状況になっており、意見が活かされていないという現状がある。補助金がさらに有効に使われるよう、教育委員会から管理者へ、適切な指導、注意喚起など、アドバイスしてほしい。</p>	<p>○総会に参加したため、状況は把握しているので、会の皆様と話をしながら、良い方向になるよう進めていきたい。</p>	<p>○組織の会議において、会員の意見が自由に等しく尊重される話し合いの場となるよう、役員の方から会議の状況をうかがいました。今後も、引き続き、会の目的に向けた意見交換がされるよう、関係する皆様と話し合いをしていきたい。</p>

課等の名称〔 中央図書館 〕

No.	事業名	事業の目的(■)及び概要(●)	第1回定例会での意見など(要旨)	第1回定例会での回答(要旨)	令和元年度あるいは令和2年度の対応など
2	図書購入事業	<p>■市民が求めるあらゆる資料や情報を収集し提供することで、市民や地域の生涯学習と課題解決を支援する。</p> <p>●市民ニーズに応じた幅広い分野の資料収集、郷土資料の収集・保存及び活用</p>	<p>○図書館の若い世代の利用が減っている中で、リクエスト図書を最優先して蔵書しているということだが、そうなるとリクエストする方たちが高齢者であるなど、決まった年代層になってしまっているのではないかと。若い世代の利用を促進したいのであれば、若い世代のニーズでのリクエスト図書をプラスしてはどうか。</p> <p>○外国から来た中学生、高校生くらいの子どもが読めるような蔵書を、地域の外国人住民の家庭や子供たちにリクエストの機会を設けて増やしてほしい。</p> <p>他の町村の図書館には、そのような蔵書がなく、中央図書館から借りても自分の住んでいる地域からは返せないのが飯田へ行かなくてはならないため、借りられない子どもたちもいるので、他の館にももう少し多言語の図書があればいいと思う。</p>	<p>○図書費は年代に応じて予算を配分しているため、他の年代まで食いつんで使うことはありません。リクエストについて、若い皆さんが読みたい本の要望を掴むことが難しいということが課題ともなっており、学校の図書委員に意見を伺うこともありますが、なかなか使っていただけない皆さんの要望をどう掴むかが難しい。良い意見があれば伺い、図書館としても具体的に考えていきたい。</p> <p>○中高生向けの本は確かに少ない。国際交流関係の会議へ行っても話を伺うことはありますが、中高生が読みたい本のリサーチが足りなかったところもあり、伺いながら考えていきたい。</p> <p>ネットワークを組んでいるよその自治体について、取り寄せるはできますが、その図書館で買う、買わないというのは飯田の方からどうこうということではできません。返却をするときの不便さがあるということについては、ネットワークの会議の中で話をしていきたい。</p> <p>飯田市の各地区にある分館でも、特に竜丘では要望があつて中央図書館からセットで貸し出ししたりとか、学校から近いところで借りられるような取組もしているので、各地区でご活用いただきたい。</p>	<p>○令和2年1月に、中学生を対象に、図書館の選書について説明し実際に書店で図書館に入れる本を選ぶ体験をする企画を行いました。この企画の中で、図書館への要望や意見を伺い、読みたい本の傾向についてもリサーチを行いました。令和2年度も中高生向けの講座を行う中で、直接意見を聞き取れる場を作っていきたい。</p> <p>○教職員の日本語教室担当者会などに参加し、多言語の方に関わっている人に向けて図書館の蔵書やサービスの案内を行いました。来年度は交流の会等で直接ニーズや要望を探る機会を持つとともに、関係機関や学校等と連絡を取り、必要な方に届くよう取り組んでいきたい。</p>

第1回定例会において発言のあった意見と、その対応など

課等の名称〔 美術博物館 〕

No.	事業名	事業の目的(■)及び概要(●)	第1回定例会での意見など(要旨)	第1回定例会での回答(要旨)	令和元年度あるいは令和2年度の対応など
3	美術博物館展示公開事業	<p>■伊那谷の自然と文化をテーマに7/20に常設展示室をリニューアルオープンする。展示や展覧会を通して、多くの方が観覧して学べるように推進する。</p> <p>●菱田春草常設展示では、さらに工夫を凝らした展示をする。</p> <p>●2020年(春草没後110年)に開催を予定している特別展の準備を進める。</p> <p>●特別展・企画展・特別陳列・コレクション展示を開催する。</p> <p>●ICT・デジタルコンテンツを導入して理解しやすく学べるしくみを構築する。</p>	<p>○自然と文化常設展示室のリニューアルについて、館内調整しているとあるが、今まで人文の方に関わりながら、人文でいうところの要望と、自然と、あるいは美術との関係、これがトータルで機能しているのかという疑問に思わずにはいられない点がいくつかあった。展示パネルなどにしても関連がうまく取れていないように見えるので改善を願う。今回のリニューアルに間に合わないのであるのならば、以降に関してはぜひそういう視点を持って、3つの部門がきちんと関連して、飯田というのはこういうところだと理解できるような形にしてほしい。</p>	<p>○昨年アンケート等で意見を聴き、評議員会も何度か開催する中で、様々な意見をいただいた。現在美術博物館では自然、人文分野で一緒になり展示解説パネルや展示物をどうするのか、具体的な議論をし、急ピッチで研究している。今度人文分野の評議員会があり、そこではしっかり反映された資料を示して理解いただけるよう指示している。</p>	<p>○開館30周年記念として、昨年7月に自然と文化の常設展示室のリニューアルオープンができました。トピック展示やデジタルコンテンツ(QRコード)など新設し、来館者から好評をいただいています。各分野が意見を出し館内調整してきたので、「伊那谷の自然と文化」に興味を拡がり創造性を高められるような展示になったと思います。</p> <p>○来年度は、春草没後110年特別展の準備を進めるとともに、県と連携して「信濃美術館所蔵名品展」、竜丘児童自由画保存顕彰委員会と協働して「自由画展」、生誕130年を記念して「日夏耿之介コレクション展」など開催します。美術、人文、自然、プラネタリウム、考古の5部門が連携して、当地の特徴をわかりやすく発信していきます。</p>
4	美術博物館教育普及・活動事業	<p>■伊那谷の特質を広く発信する。“ふるさと意識”を醸成する。文化力を高め、豊かな人生を拓く人づくりを行う。</p> <p>●自然(天文)・人文・美術部門の各講演会を開催する。講座・見学会・子ども向けの講座を開催する。美博まつり、びはく学芸祭をおこなう。</p> <p>●菱田春草鑑賞授業を小中学校と連携して実施する。</p> <p>●市民ギャラリーを市民団体に提供して、活動成果の発表をしていただく。</p> <p>■市民の自主的な調査研究活動に対して支援する。</p> <p>●研究活動に対して「伊那谷の自然と文化研究事業補助金」を交付する。</p>	<p>○小学校で図工を教えているが、春草の鑑賞授業に興味がある。5、6年生にぜひそんな授業を受けさせたいと思うが、出前授業でいいのか。それとも美博へ行かないと受けられないのか。</p>	<p>○美術博物館では、重要文化財となっている春草の代表作の複製画である、掛軸の「黒き猫」と、屏風の「落葉」を所蔵している。「黒き猫」は持ち運びができるため、学芸員が学校へ持っていき、近くに寄って鑑賞できる授業を、また「落葉」は持ち運べないため、美術博物館の展示室や講堂のような施設で子どもたちが鑑賞する授業を、学校の希望に応じて行っている。</p>	<p>○菱田春草鑑賞授業は、旭ヶ丘中・座光寺小・千栄小・鼎小の子供たちに実施できました。出前講座として学校に赴いたり、当館にお越しいただいたり、いずれも学校側と協働して対応しています。</p> <p>○来年度は、小学校6年間のうち1回は授業で当館に来ていただく仕組みを構築して、飯田の自然・文化・歴史および菱田春草ほか活躍した先人を学ぶという機会を持つように取り組みます。</p> <p>○本事業のほかプラネタリウムにおいては、「学習投影」として幼・小・中学校向けの学習番組を用意して、ご要望に沿った理科学習を提供していきます。また、飯田宇宙教育の一環として「出前宇宙授業」なども提案していきます。</p>

その他

No.	事業名	事業の目的(■)及び概要(●)	第1回定例会での意見など(要旨)	第1回定例会での回答(要旨)	令和元年度あるいは令和2年度の対応など
	社会教育施設について		<p>○美博、図書館、歴研とか含めて、地域にたくさんのストックがあり、バックヤードがかなり手狭になっている。文化会館の老朽化も含め、市民に訴えてくるようなことがあまりなく、見えてこない。市民の側で何かできることはないかと考えていこうとした場合に、考えなければならない計画や、それらの施設のバックヤードやストックの現状について、参考になることがあれば聞かせてほしい。</p> <p>また、学校の中にある資料室等にもかなりの産業遺産になるような資料があるが、ほとんどが廃棄の道をたどっている。価値のあるものであれば美博などに来るが、不要で廃棄に回っているものがあるので、現状を聞かせてほしい。</p>	<p>○文化会館と飯田市公民館と鼎文化センターを含め、ホールのあり方については、飯田市で検討するよう、話は大きくは整理されつつあり、検討の時期など明らかになってくる段階で市民の皆様にしつかり情報提供し、検討いただける機会を取りたい。</p> <p>社会教育施設のストックヤードは満杯状態で、今後も不足することが想定される中、どういふストックがいいのかということも市民への還元の観点からも、常々研究しています。資料整理についても未来を考える上で適切な資料になるという考えに基づいて取り組んでいます。社会教育機関にはいろいろな機能があり、市民に成果を還元していくためにはどのようなあり方がいいのかということについては、時期が来たらその都度必要な情報等を示しながら、一緒に研究させていただきたい。</p>	<p>○美博、図書館、歴史研究所などの史料等の保管スペースはどの施設でも不足しているのが現状であり、今年度まず担当課レベルで議論を始めたところです。来年度引き続き方策を検討する中で考え方を整理してまいりたい。</p> <p>○美術博物館2028ビジョン・基本プランは、来年度に中期～後期のあり方を検討し改定するので、収蔵スペース確保について具現化していきます。今のところは収蔵庫内の整理や工夫により対処しています。</p> <p>○図書館では、中央・上郷図書館で分担保存を検討し、可能な分野から取り組み始めています。</p> <p>○歴史研究所では今年度、使用していない教員住宅の移管を受けており、来年度から史料の保管場所の1つとして利用していく予定です。</p>

令和2年度に交付を予定する社会教育関係団体への補助金

補助金、補助事業名	補助の目的	団体名	補助金予算額(見込)(円)	主管課
理科実験ミュージアム運営事業補助金	科学実験を通して、親子・児童・生徒を対象に、科学や理科の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらうため	南信州飯田おもしろ科学工房	1,050,000	生涯学習・スポーツ課
文化財保護事業補助金	霜月祭の後継者育成	上村遠山霜月祭保存会	280,000	生涯学習・スポーツ課
		遠山霜月祭保存会	280,000	生涯学習・スポーツ課
	指定文化財の修繕(座光寺の石川除)	歴史に学び地域を訪ねる会	99,000	生涯学習・スポーツ課
飯伊婦人文庫文集発刊補助金	文集発刊への補助	飯伊婦人文庫	40,000	図書館
歴史研究活動助成金	歴史研究活動を行う人材の育成	歴史研究活動を行う団体又は個人	300,000	歴史研究所
伊那谷の自然と文化研究事業補助金	伊那谷の民俗や芸能等に関する調査研究事業への補助	柳田國男記念伊那民俗学研究所	200,000	美術博物館
	伊那谷の自然環境に関する学習および調査研究保全事業への補助	伊那谷自然友の会	175,000	美術博物館
学術研究補助金	伊那谷学の推進および学術文化研究事業への補助	伊那谷研究団体協議会	25,000	美術博物館
市民舞台芸術創造支援事業補助金	同一ジャンルの複数の団体が協働して技術力向上を目的とした講習会等を開催し舞台芸術のレベルアップを図り、地域の芸術文化の振興、地育力の向上を目的とする。伊那谷文化芸術祭への参加や、参加団体が一堂に会する発表会の開催を条件とする。補助金額は、補助対象経費(講師謝礼、講師交通費、講師宿泊費、印刷製本費)の1/2以内とする。	(市民舞台芸術創造支援事業)令和元年度に補助金交付申請を行い交付対象とする団体(今後募集予定) 令和元年度は、次の9団体(レベルアップ・タップ、クラシックバレエレベルアップレッスングループ、飯伊吹奏楽連絡会一般部会、飯伊地区小中学生演劇講習会実行委員会、市民演劇集団「演劇宿」、飯田下伊那合唱連盟、高校生バンドポップス部会、飯伊小学校管楽器研究会、下伊那地区高校吹奏楽合同バンド)	970,000	文化会館
文化財保護事業補助金	今田人形芝居の技術向上及び後継者育成、公演活動維持のため	今田人形座	532,000	文化会館
	黒田人形芝居の技術向上及び後継者育成、公演活動維持のため	黒田人形保存会	532,000	文化会館

審議会等への委員の選出について（令和2年度）

審議会等の名称	委員氏名	任期
飯伊社会教育委員連絡協議会理事・県理事	中島 正韶	R1～ 2年
飯伊社会教育委員連絡協議会理事・県代議員	永井 祐子	R1～ 2年
飯田市美術博物館協議会委員	竹内 稔	R1～ 1年
飯田市青少年問題協議会委員	三浦 宏子	R1～ 2年
青少年育成センター青少年育成推進委員	今村 光利	R1～ 2年
「人形劇のまち飯田」運営協議会	植松 敏明	H30～ 3年
飯田市キャリア教育推進協議会委員	今村 幸子	1年
わが家の結いタイム推進協議会（校長会）	（校長会選出者）	1年
わが家の結いタイム推進協議会（校長会）	（校長会選出者）	1年